



セットアップガイド  
.....

## はじめに

このたびは、YAMAHA「Hello! Music! 50」CBX-50Mをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

「Hello! Music! 50」CBX-50Mは、Apple社のMacintoshを使って音楽制作するためのパッケージ商品です。

パッケージの中には音楽制作するためのシーケンサーソフト「Hello! Music! 2.0」と、Macintoshに直接接続して音楽を再生するための最新の専用音源「MU50」が入っております。コンピュータを使用して制作する、クオリティの高い「新しい音楽の世界」をご体験ください。

シーケンサーソフト「Hello! Music! 2.0」と音源「MU50」の優れた機能を使いこなしていただくために、それぞれの取扱説明書をご活用いただきますようお願い申し上げます。また、ご一読いただいた後も不明な点が生じた場合に備えて、大切に保管くださいますようお願い申し上げます。

## 目次

第1章	
1 . CBX-50Mのパッケージ内容について .....	1
2 . CBX-50Mの特長 .....	3
第2章	
1 . ユーザー登録のご案内 .....	4
2 . サポートサービスのご案内 .....	4
■ 無償サポートサービス .....	4
■ 有償サポートサービス .....	5
第3章	
1 . コンピュータの準備 .....	7
2 . MU50の接続 .....	7
3 . Hello! Music! 2.0のインストール .....	9
4 . Hello! Music! 2.0の起動 .....	11
5 . MIDIインターフェースの設定 .....	13
6 . オンラインヘルプ機能 .....	14
7 . 演奏を聴いてみよう .....	15
8 . 市販のソングデータ(スタンダードMIDIファイル) の読み込み .....	20
■ ビジュアルアレンジャーについて .....	21

・Macintosh は、Apple社の商標です。

・「MU50」は、ヤマハ(株)のXG対応音源モジュールの名称です。

・「Hello! Music! 2.0」は、Opcode Systems, Inc.がヤマハ(株)のために開発・制作したものです。

# 第1章

## 1 . CBX-50Mのパッケージ内容について

パッケージの中には、次のものが入っています。箱を開けたら、まず入っているものを確認してください。

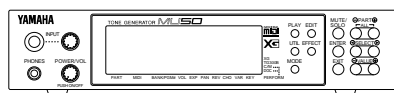
### フロッピーディスク

- ・ Hello! Music! 2.0 プログラムディスク( 3.5インチ2DD )× 2
- ・ Demonstration Disk( 3.5インチ2DD )× 1
- ・ Visual Arranger Demo Version( 3.5インチ2HD )× 1  
( ビジュアルアレンジャー体験版 )

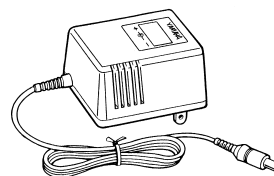


### トーンジェネレーター

- ・ MU50 × 1
- ・ 電源アダプター( PA-1207 )× 1



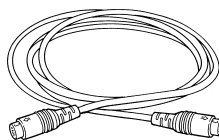
MU50



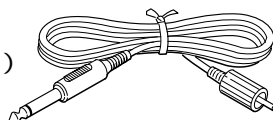
電源アダプター( PA-1207 )

### ケーブル

- ・ インターフェースケーブル× 1  
( コンピュータの出力ポート MU50のTO HOST端子 )



- ・ オーディオケーブル× 2  
( 標準フォン RCAピン )





## 2 . CBX-50Mの特長

「CBX-50M」には、Macintoshを使って制作するための最新の音楽プログラムをパッケージいたしました。

コンピュータミュージックの世界で主流となっているSMF(スタンダードMIDIファイル)データを再生したり、そのデータをアレンジすることもできます。

それでは、「Hello! Music! 2.0」の特長を簡単に紹介しましょう。

### Hello! Music! 2.0の機能 / 特長

- ・ Macintoshの操作性にフィットした高機能シーケンスソフトなので、コンピュータミュージックが初めての方でも気軽に使えます。  
メニューやアイコンをマウスでコントロールする簡単操作。  
ディスプレイ上で絵を描くようにデータの入力 / 修正が可能。
- ・ ディスプレイ上で、楽譜表示とピアノロール表示の2通りの表示形式が選べます。
- ・ スタンダードMIDIファイルなど市販のソングデータや、ほかのソフトウェアで作成したデータを読み込んで演奏することができます。
- ・ ディスプレイに表示した楽譜をそのまま出力し、印刷できます。
- ・ リアルできれいな楽譜印刷を可能にする楽譜専用フォント「Sonataフォント」を用意しました。
- ・ 簡単にハードディスクなどにインストールできるように、カスタムインストール機能付きの「簡易インストーラ」を用意しました。



システムはApple社Macintosh純正の漢字Talk 6.0.7(またはそれ以上; 漢字Talk7対応)をご使用ください。異なったシステムでの動作は保証いたしかねますのでご了承ください。

Hello! Music! 2.0操作の詳細については、Hello! Music! 2.0の取扱説明書をご参照ください。

### Hello! Music! 2.0シーケンスソフトおよび取扱説明書について

Hello! Music! 2.0のシーケンスソフトはOpcode Systems inc. の定評ある「EZ Vision J」と全く同じ内容になっています。取扱説明書上で「EZ Vision J」、「EZ Vision 2.0J」とあるところはすべてHello! Music! 2.0と読み替えていただきますようお願いいたします。

音楽データの著作権につきましては、私的使用のための複製など著作権法上問題にならない場合を除いて、著作権の専門家にご相談されるなどのご配慮をお願いします。

# 第2章

## 1. ユーザー登録のご案内

ヤマハでは、Hello! Music! 50 ユーザーの方々にサポートサービスをするために、お客様を登録させていただいております。

つきましては、お手数ですが、パッケージに同梱しております「ユーザー登録用紙」に必要事項をご記入の上、至急ご返送くださいますようお願い申し上げます。

また、ご登録いただいた「ご住所」、「お名前」などを登録後に変更された場合は、「製品名」、「製造番号」(プログラムディスクに印刷されている番号)、「旧住所/旧氏名」、「新住所/新氏名」を明記の上、「CBXインフォメーションセンター」まで郵便でご通知ください。

## 2. サポートサービスのご案内

「ユーザー登録手続き」を完了された方には、以下のサポートサービスを行わせていただきます。

サービスの種類によりディスクの返送が必要な場合がありますので、オリジナルディスクのラベルをはがしたり、破損したりしないようご注意ください。お送りいただいたディスクが弊社製品として確認できない場合や、「ユーザー登録手続き」がお済みでない場合は、サポートサービスをお受けになれません。あらかじめご了承ください。

### 無償サポートサービス

#### 1. 購入時、正常に動作しない場合のディスクの修復

製品には万全を期しておりますが、万一CBX-50Mの各オリジナルディスクに記録されたプログラムなどの内容が、購入時にすでに破壊や欠損が原因で、正常に動作しない場合はこれらの内容を修復させていただきます。次の「ディスク修復無償サポートサービスの申し込み方法」にしたがってお申し込みください。

お送りになる前に、お手数とは存じますが、次ページの「CBXインフォメーションセンター」まで電話、または書面にてあらかじめご連絡ください。

#### ディスク修復無償サポートサービスの申し込み方法

「修復の必要なオリジナルディスク」と、「ご住所」、「お名前」、「お電話番号」、「製造番号」(プログラムディスクに印刷されている番号)、「動作の状態」などを明記した文書を同封してください。

返送の途中でディスクが破損しないように十分注意して包装してください。

(返送の途中でディスクが破損または紛失した場合、弊社では責任を負いかねます)

返送には郵便書留か宅配便をご利用ください。

(宅配便の場合は、着払(弊社負担)がご利用になれます)

#### 2. 質問の受付

CBX-50Mのパッケージ全般、MU50、および各バンドルプログラムに関する質問やお問い合わせ

4 を、郵便・電話・ファックスでお受けいたします。

お問い合わせの際には、「製品名」(CBX-50M)、「製造番号」(プログラムディスクに印刷されている番号)、「ご住所」、「お名前」、「お電話番号」をお知らせください。また、ご面倒でも「ご使用のコンピュータの種類」、「操作の手順やそれによる結果と状態」、「入力されたデータの内容」なども詳しくお知らせくださいますようお願いいたします。

「CBX-50M」のパッケージ全般、および「Hello! Music! 2.0」MU50」に関する質問やお問い合わせは、「CBXインフォメーションセンター」にお問い合わせください。

**C Bインフォメーションセンター**

〒430 静岡県浜松市中沢町10-1

ヤマハ(株) CBXインフォメーションセンター

TEL. 053-460-1667

受付日 月曜日～金曜日(祝日およびヤマハ(株)の休業日を除く)

受付時間 9:00～12:00 / 13:00～17:00

## 有償サポートサービス

### 1. 破損オリジナルディスクの修復

CBX-50M使用中に、お客様が誤ってオリジナルディスクに登録されたプログラムなどの内容を破損された場合、有償でそれらの内容を購入時と同等に修復いたします。「ご住所」、「お名前」、「お電話番号」をご記入の上、手数料(各¥3,000)とオリジナルディスクを添え、次の「ディスク修復有償サポートサービスの申し込み方法」にしたがってお申し込みください。

### 2. 紛失したオリジナルディスクの再発行

オリジナルディスクを紛失された場合、有償でオリジナルディスクの再発行をいたします。(プログラムディスクセット: ¥30,000 / デモンストレーションディスク: ¥5,000)

お申し込みになる前に、お手数とは存じますが、「CBXインフォメーションセンター」まで電話、または書面にてあらかじめご連絡ください。

#### ディスク修復・再発行有償サポートサービスの申し込み方法

破損ディスクの修復をご希望される場合は、次ページの申込書(有償)に必要事項を漏れなくご記入の上、修復手数料とオリジナルディスクを添えて、CBXインフォメーションセンターまで書留にてお送りください。なお、郵送の途中でオリジナルディスクが破損しないように、十分注意して包装してください。

ディスクの再発行をご希望される場合は、次ページの申込書(有償)に必要事項を漏れなくご記入の上、再発行手数料を添えて、CBXインフォメーションセンターまで書留にてお送りください。

- ・必ず登録された「ご住所」、「お名前」で、お申し込みください。
- ・お客様からCBXインフォメーションセンターへの送料は、お客様にてご負担ください。
- ・普通郵便などでお送りになられた際の事故や紛失に関して、弊社では責任を負いかねます。
- ・お申し込みいただきましたオリジナルディスクは、手数料の確認の後、登録されたご住所に発送いたします。お申し込み後、2週間を過ぎても製品が届かない場合は、CBXインフォメーションセンターにご確認ください。

有償サポートサービス申込書

有償サポートサービスの「破損オリジナルディスクの修復」と「オリジナルディスク紛失による再発行」の申し込みをされる場合は、下記の申込書をコピーしてご使用ください。

「Hello! Music! 50」CBX-50M  
*破損オリジナルディスク修復申込書*

有償①

ご住所 □□□-□□
お名前
お電話番号
製造番号（プログラムディスクに印刷されている番号）
破損ディスク（ 枠の中に ✓印をつけてください） 「Hello! Music! 2.0」プログラムディスクセット デモンストレーションディスク

破損オリジナルディスクの修復手数料は、各¥3,000です。

「Hello! Music! 50」CBX-50M  
*オリジナルディスク紛失による再発行申込書*

有償②

ご住所 □□□-□□
お名前
お電話番号
再発行申し込みディスク（ 枠の中に ✓印をつけてください） 「Hello! Music! 2.0」プログラムディスクセット デモンストレーションディスク

再発行手数料は、プログラムディスクセットは、¥30,000  
デモンストレーションディスクは、¥5,000です。



# 第3章

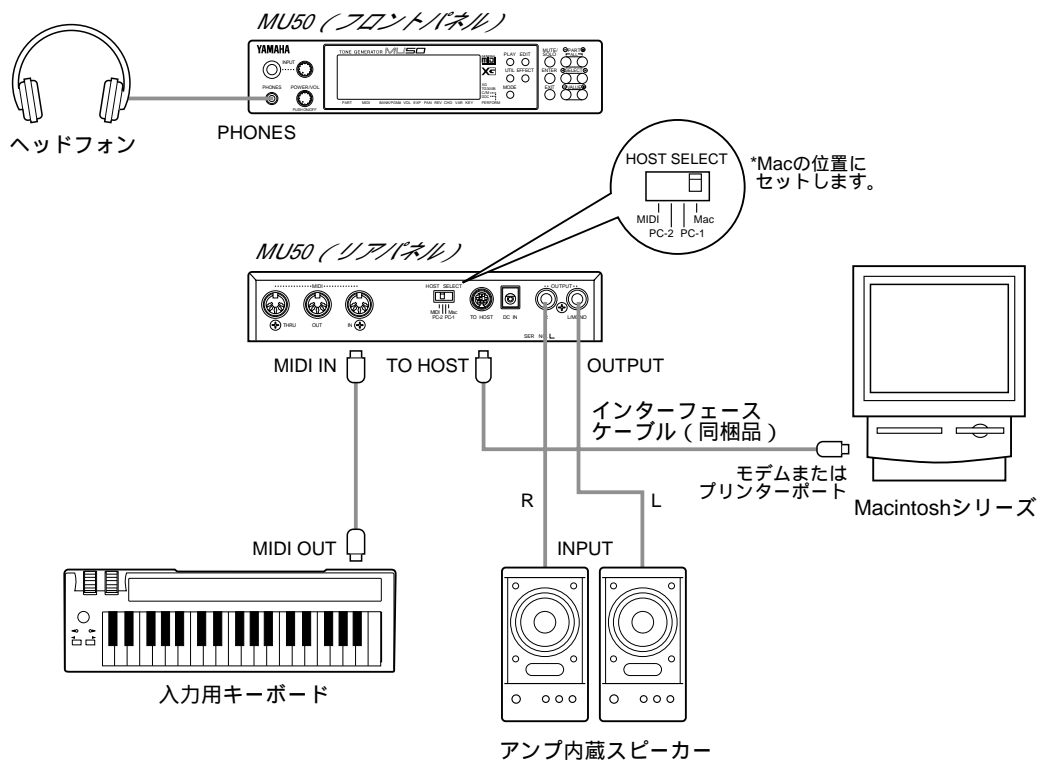
## 1. コンピュータの準備

CBX-50Mにバンドルされている「Hello! Music! 2.0」をお使いになるためには、次のようなコンピュータ環境が必要です。

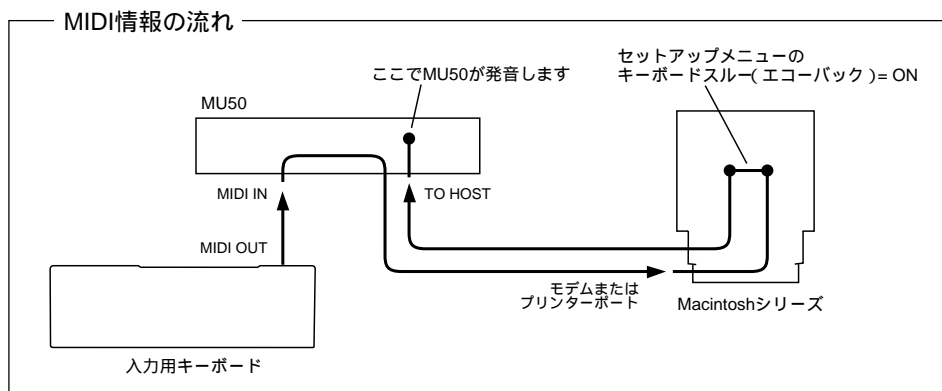
- コンピュータ
  - Macintosh Plus 以降
- メモリー
  - 空きメモリー 2.3MB 以上
- システム
  - 漢字Talk 6.07 以上

## 2. MU50の接続

すべての機器の電源を切った状態で、コンピュータリアパネルの出力ポートと、MU50リアパネルの TO HOST 端子を、付属のインターフェースケーブルで接続します。



接続の詳しい手順は「MU50」取扱説明書の20ページをご覧ください。



#### オーディオ機器

CBX-S3などのモニタースピーカー、もしくはヘッドフォンをご用意ください。外部入力端子がついている一般のステレオやラジカセで再生することもできます。

#### 外部キーボード

シーケンサー入力として外部キーボードを使用する場合は、キーボードをMU50のMIDI IN端子に接続してください。



#### 接続についてのご注意

- ・接続はすべての機器の電源を切った上で行ってください。
- ・接続する場合は、プラグ部分を持ちしっかり接続してください。接続を外す場合も、必ずプラグ部分を持って外してください。
- ・ケーブルはできるだけ新しいケーブルを使用し、不必要に長いケーブルはノイズやデータ送信エラーの原因になりますので使用しないでください。
- ・接続が完了したら、入力用キーボード、コンピュータ、MU50、オーディオ機器の順に電源をオンにします。(外部オーディオ機器の音量はあらかじめ下げてください。)  
電源を切る場合は逆の順序で行ってください。

### 3 . Hello! Music! 2.0のインストール

Hello! Music! 2.0のディスクは、ほとんどのファイルが圧縮された状態で納められていますので、一旦ハードディスクにインストールし、ファイルの圧縮を解かなければ使用することができません。Hello! Music! 2.0はフロッピーディスクから直接起動することはできません。

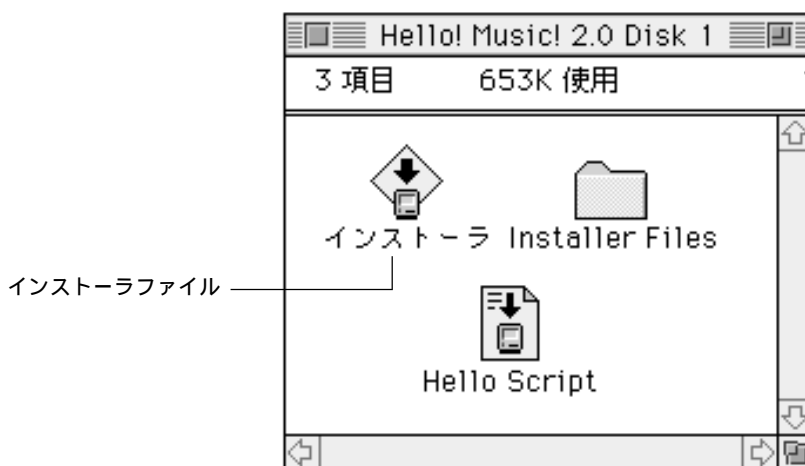
Hello! Music! 2.0をマスターディスクからハードディスクにインストールし、ファイルの圧縮を解くには、Disk 1に納められている「インストーラ」を使用します。



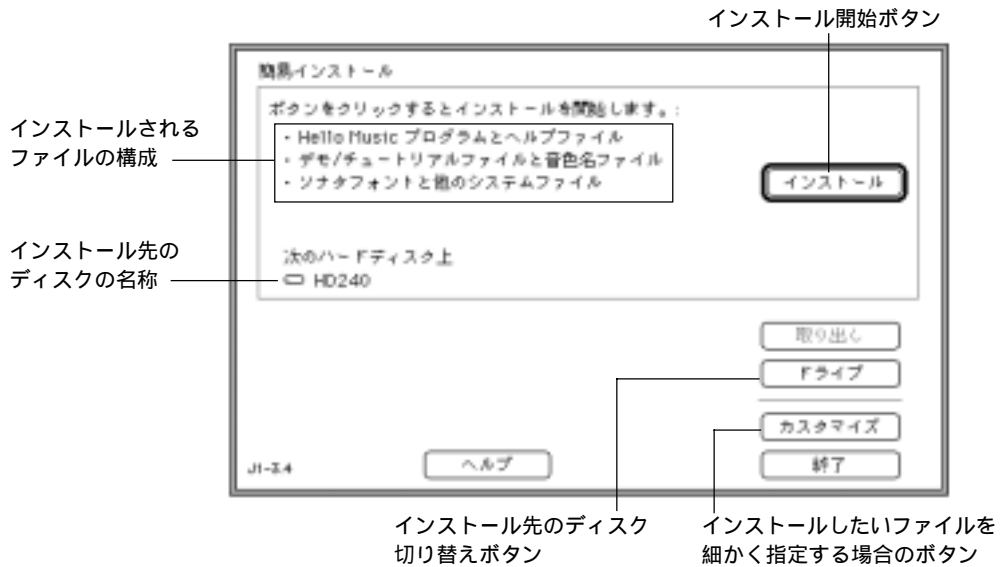
Hello! Music! 2.0などをマスターディスクから複数のハードディスクにインストールすることは、使用許諾契約書によって禁止されています。

#### ハードディスクへのインストール手順

- 1 Macintoshをオンにし、Macintoshをデスクトップの画面にします。  
すでにMacintoshを使用している場合は、使用しているアプリケーションプログラムやデスクアクセサリーを終了させてください。
- 2 Hello! Music! 2.0のDisk 1をディスクドライブにセットし、ディスクのアイコンをダブルクリックしてディスクを開きます。
- 3 ディスクの中からインストーラという名のファイルを見つけ、そのアイコンをダブルクリックしてインストーラを起動してください。



「インストーラ」の起動画面が現れます。



**4** 画面左上に表示されるHello! Music! 2.0のインストールされるファイル構成を確認してください。

複数のハードディスク(内蔵タイプ、外付けタイプ)が接続されている場合には、「ドライブ」ボタンをクリックしてインストール先のディスクを切り替えます。

**5** 「インストール」ボタンをクリックします。  
インストールの作業が開始します。



Hello! Music! 2.0の一部のファイルだけをインストールしたい場合は、「インストール」ボタンをクリックする前に「カスタマイズ」ボタンをクリックし、インストールしたいファイルを選択してください。通常は、ハードディスクに余裕のあるかぎりすべてのファイルをインストールします。

**6** 画面に表示される指示に従って、ディスク(Disk 2)を入れ替えてください。インストールには数分かかります。

インストールが無事終了すると、作業完了を知らせるダイアログボックスが現れます。



7 ボックスの中の「再起動」をクリックして、Macintoshを再起動します。

8 デモソングのデータ(Demonstration Disk)をハードディスクにコピーします。Demonstration Diskをディスクドライブにセットし、フロッピーディスクのアイコンをハードディスク上のHello Musicのフォルダーにドラッグして、マウスボタンを離します。

ハードディスクの容量に余裕がない場合は、デモソングをハードディスクにコピーしなくても構いません。

Macintosh IIfxやQuadra 900, Quadra 950をご使用の場合、Hello! Music! 2.0のインストーラは自動的にコントロールパネルに「Serial Switch」をインストールします。インストール後に、Hello! Music! 2.0をご使用になる場合は必ず「Serial Switch」を「compatible」に設定し再起動を行ってください。(コントロールパネルについてはMacintoshに付属の「ユーザズガイド」をご参照ください。)

## 4 . Hello! Music! 2.0の起動

インストールが完了しMacintoshを再起動すると、インストール先のハードディスクの中に「Hello Music 2.0」という名称のフォルダーが作成されています。このフォルダーの中にHello! Music! 2.0の起動に必要なすべてのファイルが納められています。

1 フォルダーをダブルクリックしてフォルダーを開きます。

Hello! Music! 2.0のフォルダーの内容



- 2** Hello! Music! 2.0のアイコンをダブルクリックしてください。  
Hello! Music! 2.0が起動します。



インストール後Hello! Music! 2.0を初めて起動すると、つぎのようなダイアログボックスが現れます。



- 3** 名前、所属、シリアル番号を入力してください。  
名前と所属は、日本語でも英語でもどちらでも結構です。  
シリアル番号は、Hello! Music! 2.0のDisk 1のラベルに印刷されている番号です。英数モードで入力してください。番号の中のピリオド(.)も正確に入力してください。

- 4** 入力が終了したら、「OK」をクリックします。

画面は自動的に「MIDIポートセットアップ」表示になります。つぎの「MIDIインターフェースの設定」の操作を行ってください。

## 5 . MIDIインターフェースの設定

シリアル番号の入力が完了すると、「MIDIポートセットアップ」のダイアログボックスが現れます。一度設定するとこの表示は出なくなります。



Macintoshに音源 (MU50) を接続する場合、モデムポートとプリンターポートのどちらにでも接続することができます (複数の音源を使用する場合、両ポートに同時に接続することも可能です)。Hello! Music! 2.0を初めて起動するときには、音源がMacintoshのどちらのポートに接続されているかを指定しなければなりません。

音源 (MU50) を接続しているポートの真下の をクリックしてチェックを入れてください。その他の設定は初期設定のままです。(転送速度は1MHz。)

設定が完了したら「OK」をクリックしてください。

「Apple MIDI Managerを使用」は文字が破線の状態になって使用することができません。この機能を使用する場合は、「Apple MIDI Manager」が必要です。



Apple Talkが設定された状態で、音源をプリンターポートに接続する場合、Apple Talkは切ってください。

通信ソフトを使用した直後、Hello! Music! 2.0でモデムポートを使用できないことがあります。このような場合、Macintoshを再起動させてからHello! Music! 2.0を起動してください。

### 「Vision」ファイルについて

システムが漢字Talk7の場合、Hello! Music! 2.0をインストールすると、Macintoshシステムフォルダの「System」スーツケースに「Vision」というファイルが自動的にコピーされます。(画面の文字入力メニューに「Vision」が表示されます。)「Vision」はHello! Music! 2.0専用のキーボード配列ファイルで、Hello! Music! 2.0を使用する際、ショートカットキーなどの割り当てを行います。「System」ファイルから「Vision」ファイルを移動すると、Hello! Music! 2.0が正常に動作しなくなります。(「Vision」ファイルは他のアプリケーションでは、動作しません。)「Vision」ファイルは、Hello! Music! 2.0を起動したときに自動的に呼び出されます。

Hello! Music! 2.0をハードディスクから削除した後も、「Vision」ファイルは文字入力メニューに表示され続けます。不要の場合は「System」スーツケースから「Vision」ファイルを取り出し、ゴミ箱に捨ててください。

## 6 . オンラインヘルプ機能

Hello! Music! 2.0 には、便利なヘルプ機能があります。マニュアルを開かなくても、画面上で「オンラインヘルプ機能」を使用して機能の内容や操作方法などを知ることができます。

Macintoshのキーボードのコマンド $\mathbb{H}$ 、OPTION、SHIFT キーを同時に押すと、カーソルが[?] に変わります。この[?]カーソルを機能や操作を知りたいメニューやボタンに移動させ、マウスのボタンをクリックすると、その機能や操作の説明(ヘルプメッセージ)が現われます。

オンラインヘルプは、Hello! Music! 2.0のウィンドウ内のほとんどのメニュー、ボタン、アイコンに対応しています。



オンラインヘルプ機能を使用するためには、Hello! Music! 2.0起動時にHello Music Help ファイルをHello! Music! 2.0 と同じフォルダーの中に入れておかなければなりません。

### ヘルプメニュー

Hello! Music! 2.0 を使用中、画面上に「ヘルプ」が表示されます。ポインタをヘルプにあて、マウスのボタンを押したままドラッグすると、以下のヘルプメニューが現われます。

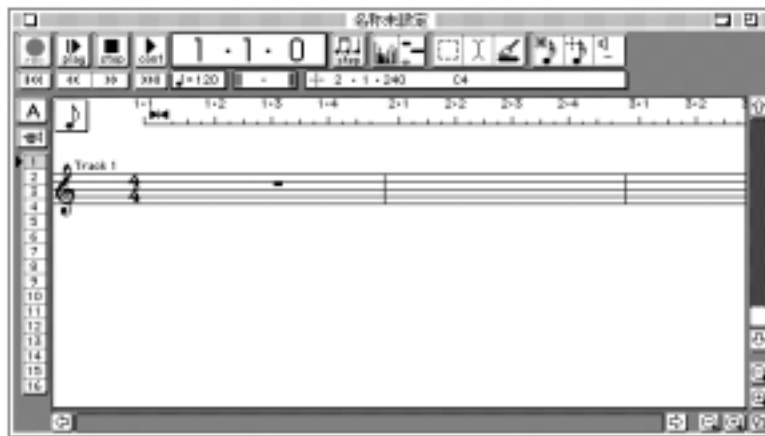
ヘルプの使い方	Hello! Music! 2.0 のオンラインヘルプの使用法が表示されます。
キーボード ショートカット	Hello! Music! 2.0 を、Macintoshのキーボードで操作するためのコマンドの一覧が表示されます。
スルー ショートカット	現在オープンされているソングを構成する各トラックをオープンします。キーボードからこれらのトラックをオープンするためのキーボードショートカットも表示されます。 (1-10トラックは $\mathbb{H}$ + [1]~[0] キー、11-16トラックは $\mathbb{H}$ + [option] + [1]~[6] キー)
ウィンドウ ショートカット	Hello! Music! 2.0 を構成する各ウィンドウをオープンします。キーボードからこれらのウィンドウを開くためのキーボードショートカットも表示されます。
ポップアップ ヘルプ	この項目にチェック[✓]がついていると、マウスのボタンを押している間だけ、ヘルプメッセージが表示されます。チェック[✓]がついていない場合は、もう一度マウスのボタンをクリックするまで、ヘルプメッセージが表示されます。



## 7. 演奏を聴いてみよう

すべての設定が終わり、Hello! Music! 2.0 を正常に起動できた場合、エディットウィンドウが画面に表示されます。(ファイルの新規作成。)

エディットウィンドウ



まず最初にデモソングを聴いてみましょう。

Hello! Music! 2.0 のデモソングは「スタンダードMIDIファイル」になっています。

### 演奏曲の選択(データの読み込み)

ファイルメニューの「別のファイル形式を入力」を選ぶとファイル入力ダイアログボックスが現われます。



「Demo Disk」のフォルダーを開いてスタンダードMIDIファイルのボタンをクリックすると、デモ曲のファイル名が表示されます。演奏したい曲(シーケンスファイル)を選び、「開く」をクリックします。(ハードディスクにデモソングをコピーしていない場合は、Demonstration Diskをディスクドライブに入れて選択してください。)



Demonstration Diskには、コンピュータミュージックのすばらしさを実感できるHello! Music! 2.0 ならではの、いろいろなジャンルの曲が8曲入っています。

## 演奏データの表示方法

データ(イベントデータ)の入っているトラックは、トラックバーのナンバーが太字で表示されます。また、エディットウィンドウには、ナンバーの反転しているトラックのデータが表示されます。

[ shift ][ トラックバーのナンバーが太字で表示されているトラックをすべて反転して ] をクリックしてください。トラック内のすべてのデータがエディットウィンドウに表示されます。



タイトルバーのすぐ下にある「表示切り替えボタン」 /  を押すことで、ディスプレイ上で楽譜表示とピアノロール表示の2通りの表示形式を選ぶことができます。

[ スタート ] ボタンをクリックすると曲の先頭から演奏が始まります。

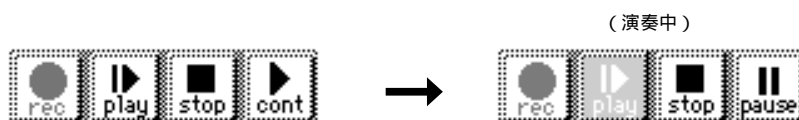
演奏箇所はバウンドボールとカウントラインによって表示されます。

また、カウンターにも数字で演奏している小節・拍・ユニットが表示されます。

曲の演奏が終わると自動的にストップします。

## スタート・ストップボタンの操作(トランスポートコントロール)

トランスポートコントロールの各ボタンは、クリックすると反転表示に変わり、そのボタンが現在選択されていることを示します。



スタート(プレイ)ボタンは、演奏中、曲のテンポに合わせて点滅します。



### スタート(プレイ)ボタン


 が [space] キーを押すと、曲の最初から演奏が始まります。

演奏中にクリックすると演奏はポーズの状態になります。

スタートボタン、ポーズボタンまたは [space] をクリックするとバウンドボール、カウントラインの位置から演奏が始まります。



### ストップボタン

 が [return] キーを押すと、演奏がストップします。バウンドボールがストップした位置を示します。




[enter] キーでは、ストップできません。

ストップするとカウントラインはデータの先頭に戻ります。




### コンティニューボタン

 を押すと、曲の途中(カウントラインの位置)から演奏が始まります。

曲の途中でストップボタンをクリックしたとき、ストップさせた位置から演奏を始めるときにクリックします。




### レコードボタン

 が [tab] キーを押すと、MIDIキーボードで演奏するデータを記録します。

Hello! Music! 2.0取扱説明書の「トラックレコーディングと再生」の項をご参照ください。

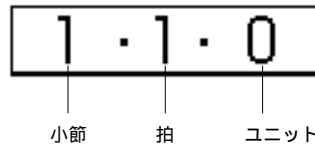


### ポーズボタン

演奏中、コンティニューボタンはポーズボタンに変わります。 を押すと演奏を一時ストップすることができます。もう一度クリックするとストップした位置から演奏が始まります。

## 演奏箇所の表示(カウンター)

いま、演奏している位置を小節・拍・ユニットで表示します。

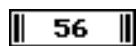


小節と拍は1から、ユニットは0から始まります。ユニットは4分音符の1/480を1ユニットとして表示します。つまり、480ユニット=4分音符です。

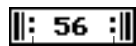
スタートボタンをクリックすると[1·1·0] (曲の先頭) から演奏が始まります。コンティニューボタンをクリックするとカウンターに設定した位置から演奏が始まります。カウンターの各数字をクリックして反転させると、マウスまたはテンキーで小節・拍・ユニットの値を設定することができます。

## 曲の長さの表示(トラックレングス欄)

データが何小節あるかを表示します。複数のトラックをエディットウインドウに表示しているときは、カレントトラック(トラックバーで>印が付いているトラック)の長さが表示されます。



トラックレングス欄の数字をはさむバーをクリックすると、トラック全体をループさせることができます。ループが設定されているトラックは、最後まで演奏が終わると曲の先頭に戻って演奏を続けます。



ループドット



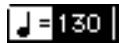
ループは、トラックごとに設定できます。曲の最後まで演奏が終わるとループされたトラックだけが続けて曲の先頭から演奏されます。

また、ループの設定はシーケンスを保存すると一緒に保存されます。

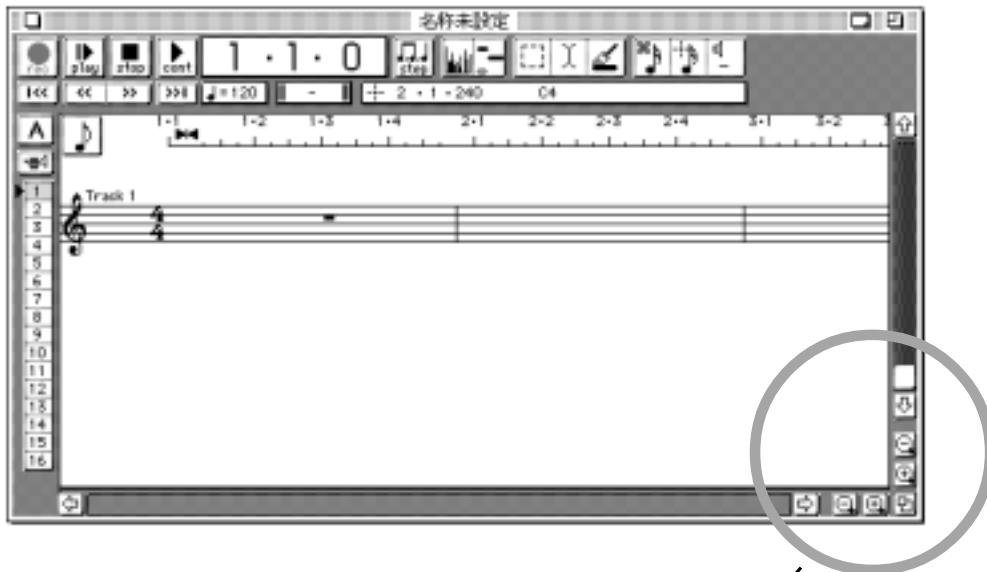
## 演奏スピード(テンポ)

1 分間に 4 分音符を打つ回数で曲の演奏のスピードを表します。

クリックして反転させれば、マウス、テンキーで自由に設定できます。また、シングルクオートキー( ` )を 2 回以上打ってテンポを刻むと、そのテンポを平均化してテンポ欄に表示し、設定を変更します。



## 表示範囲の変更(ズームボタン)



### トラックレングスのズーム

#### ズームアウト

クリックするたびに表示される小節が多くなり一つのノート情報が小さくなります。曲全体を表示することもできます。

#### ズームイン

クリックするたびに表示される小節が少なくなり一つのノート情報が判別しやすくなります。

### 音程のズーム

#### ズームアウト

クリックするたびに表示される音程の範囲が広がります。

#### ズームイン

クリックするたびに表示される音程の範囲が狭くなります。

エディットウィンドウの表示範囲は、ズームボタンで自由に変更できます。

## 8 . 市販のソングデータ(スタンダードMIDIファイル)の読み込み

Hello! Music! 2.0は、市販されている「スタンダードMIDIファイル」のデータを読み込んで演奏することができます。

### Mac用データの読み込み

ファイルメニューの「別のファイル形式を入力」を選ぶと、ファイル入力ダイアログボックスが現われます。



別のファイル形式について

MIDIファイル

スタンダードMIDIファイル(次ページをご参照ください。)

プロコンポーザー Mark of the Unicorn社

Professional Composer Version 2.0～2.3に対応

DMCSELECTRONICARTS社

Deluxe Music Construction Set Version 1.0、2.0、2.5に対応

### 他機種データの読み込み

Hello! Music! 2.0は、スタンダードMIDIファイルとしてセーブされたSY99やMDF2のデータを読み込むことができます。しかし、これらのデータは、Macintoshとは異なるフォーマットのフロッピーディスクを使用していますので、Apple File Exchangeを使って「MS-DOS=>Mac」のデフォルト変換でMacデータに変換する必要があります。また、変換しただけではファイルタイプがTEXTになってしまい、ファイル入力ダイアログボックスでスタンダードMIDIファイルを選択してもファイル名が表示されません。

このような場合は、ユーティリティソフトでファイルタイプを「Midi」に変更し、ファイルメニューの「別のファイル形式を入力」で読み込んでください。

Hello! Music! 2.0のデータに比べ、スタンダードMIDIファイルは、読み込み時間が長くなります。



Hello! Music! 2.0は、スタンダードMIDIファイルの形式でセーブされたデータであれば、Mac以外のPCのデータも上記の手順で読み込むことができます。

## ビジュアルアレンジャーについて

CBX-50Mには、コンピュータミュージック用アプリケーションソフト『ビジュアルアレンジャー』の体験版ディスクが1枚付属しています。

『ビジュアルアレンジャー』は、譜面が読めない人やコードの知識がない人でも、ディスプレイ上のアイコンを並べていくだけで本格的な伴奏データが作れるソフトです。

どうぞこの『ビジュアルアレンジャー』体験版をお試しください。

付属のディスクは体験版(デモ版)のため、伴奏パターンやショートフレーズの種類が製品よりも少なくなっています。また、作成したデータを保存することはできません。

### Visual Arranger for Apple Macintosh : MA-1 1 M

メーカー希望小売価格 ¥15,000 (税抜き価格)

動作環境 対応パソコン : Apple Macintosh シリーズ (CPU : 68020 以上) 対応 OS : 漢字Talk7.1 以上 (32bit アドレスモード対応) 必要メモリー : 8MB 以上 必要機器 : マウス / ハードディスク メディア : 3.5 インチ (2HD)

画面には音楽スタイルや楽器、機能がすぐわかる愉快的なアイコンが登場。パズルを組み合わせる間隔でドラッグしていけば、アツという間にプロ顔負けのオリジナル曲ができあがり！ ロックやジャズ、ラテンなど幅広いスタイルをカバーした200種の伴奏パターンを内蔵。それぞれにイントロ / メイン × 2 / フィル × 4 / エンディングを用意。1600もの伴奏から試聴しながら選び、組み合わせさせていけます。伴奏は最大7パート(ドラム、ベース、コード × 5)の本格派。さまざまなスタイルにマッチしたアドリブやリフなど300種のショート・フレーズも内蔵。曲中の好きな場所で鳴らせます。メロディ・データも録音可能。コードは30種。選んだスタイルに最適なコード進行を表示するため、画面を見れば、入力も超簡単。1クリックでテンポを2倍または1/2にしたり、フェードアウトできるスマート・アレンジ機能。パートごとの音量や音の定位などをリアルタイムに変えられるミキサー画面も装備。ミキシング操作を記録してコンピュミックスも楽しめます。GMに対応し、GM音源の音色選びもスムーズ。SMFに対応。伴奏データをSMF対応のシーケンス・ソフトに取り込み、より高度な作品に仕上げることもできます。

## ソフトウェアのご使用条件

1. 本製品の構成 本製品は本使用条件とともにご提供するソフトウェアプログラム(以下「許諾プログラム」といいます)を格納したシステムディスクおよび許諾プログラムを解説したマニュアル一式で構成されます。
2. 著作権および使用許諾 本許諾プログラムの著作権はOPCODE SYSTEMS, INC.、(株)カメオインタラクティブ、及び弊社が保有します。 弊社は本製品の製品化に必要な諸々の権利を保有しています。 弊社はこれらの権利に基づきユーザー登録されたお客様に対し、ご自身が一時に一台のコンピュータで許諾プログラムを使用する権利を許諾します。
3. 期間 本契約はお客様が許諾プログラムを受け取りになった日に発効します。 弊社はお客様が本契約のいずれかの条項に違反された時は即座に使用権を終了させることができますものとします。
4. 複製および改変 お客様は許諾プログラムの全体または一部を複製、改変、結合又はその他の処分をすることはできません。
5. 譲渡および移転 お客様は許諾プログラムまたはその使用権の、第三者に対する使用許諾、譲渡、移転又はその他の処分をすることはできません。
6. 製品の保証および免責 弊社は許諾プログラムが正常な使用状態でマニュアル通りの作動をしない場合は、唯一の保証責任として無償で同種の良品と交換させていただきます。 弊社はお客様が本製品を使用された結果生じたデータの破損、その他の損害については一切責任を負いかねます。

### 商品に関するお問い合わせ窓口

CBXインフォメーションセンター 〒430 静岡県浜松市中沢町10-1 Tel 053-460-1667

### 営業窓口

電子楽器営業部 デジタルCBX営業課 〒430 静岡県浜松市中沢町10-1 Tel 053-460-2432

所在地・電話番号などは変更されることがあります。

ヤマハ株式会社